

平成 23 年 10 月 19 日

会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
(コード 6668 :マザーズ)
住 所 広島県福山市引野町五丁目6番10号
代表者 代表取締役社長 藤井 修逸
問合先 担当者 取締役
総務・経理部長 中山 浩之
電話番号 084-945-1359

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

1. 開催状況

開催日時 : 平成 23 年 10 月 18 日 13:30~14:30
開催方法 : 対面による実開催
開催場所 : 東京証券取引所ビル6階 会議室
説明会資料名 : 決算説明会

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
代表取締役社長 藤井 修逸
(東証マザーズ 6668)

会社概要

商 号	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー	
本 社 所 在 地	広島県福山市引野町五丁目6番10号	
設 立	1985年1月（昭和60年1月）	
代 表 者	藤井修逸	
資 本 金	835百万円（平成23年8月31日現在）	
連 結 子 会 社	Adtec Technology, Inc.（米国）	平成8年8月設立
	Adtec Europe Limited（英国）	平成12年8月設立
	株式会社 I D X（栃木県）	平成16年12月子会社化
	Phuc Son Technology Co.,Ltd.（ベトナム社会主義共和国）	平成23年5月設立
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）	平成23年5月設立
発 行 済 株 式 数	8,586株（平成23年8月31日現在）	
従 業 員	連結：208名（平成23年8月31日現在） 単体：112名（平成23年8月31日現在）	

平成23年8月期 業績概要

業績概要

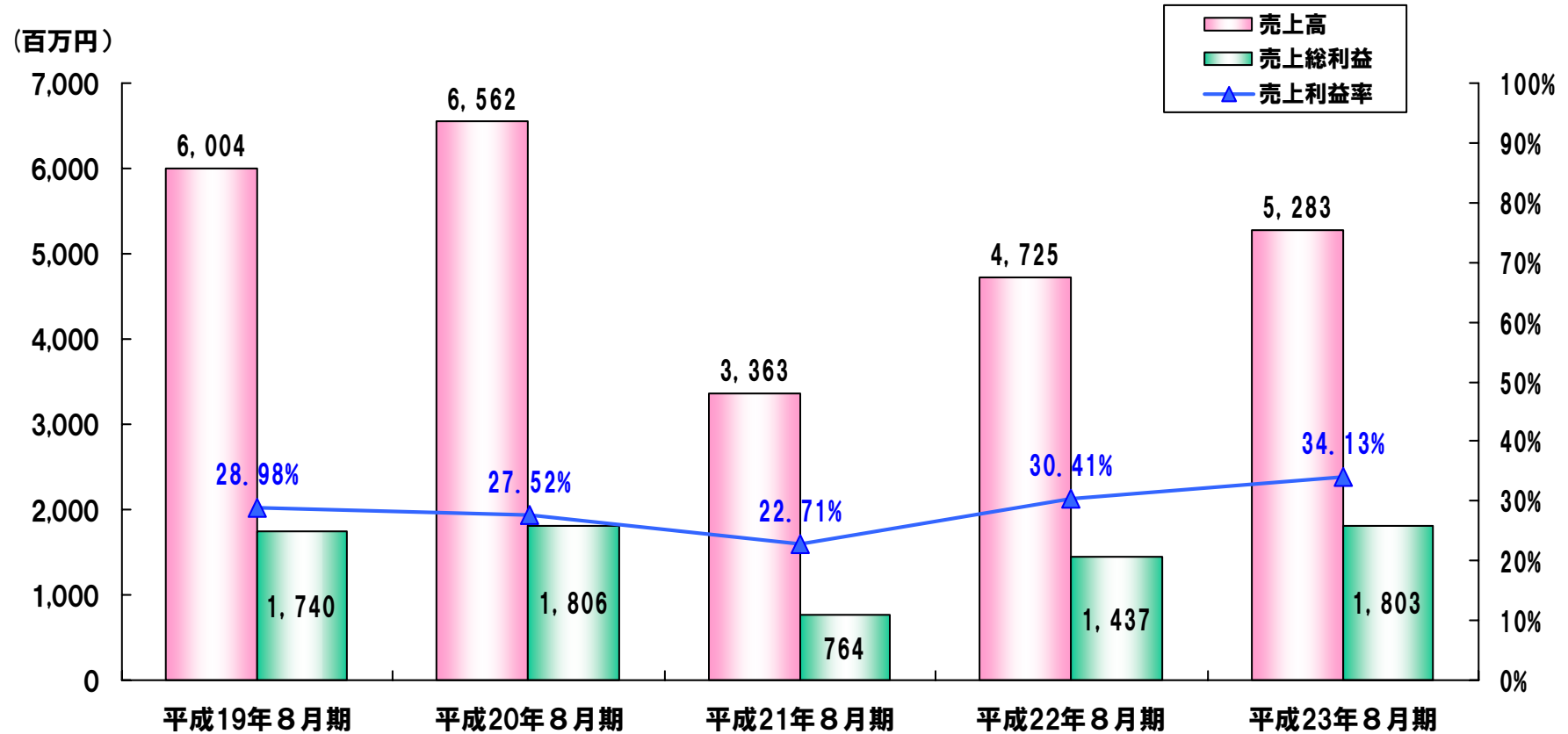
連結

(単位:百万円)

	平成22年 8月期	平成23年 8月期	前年同期比 増減額 (増減率)
売上高	4,725	5,283	558 (11.8%)
売上総利益	1,437	1,803	365 (25.5%)
営業利益	195	536	340 (173.8%)
経常利益	101	468	366 (361.4%)
当期純利益	144	364	220 (152.4%)

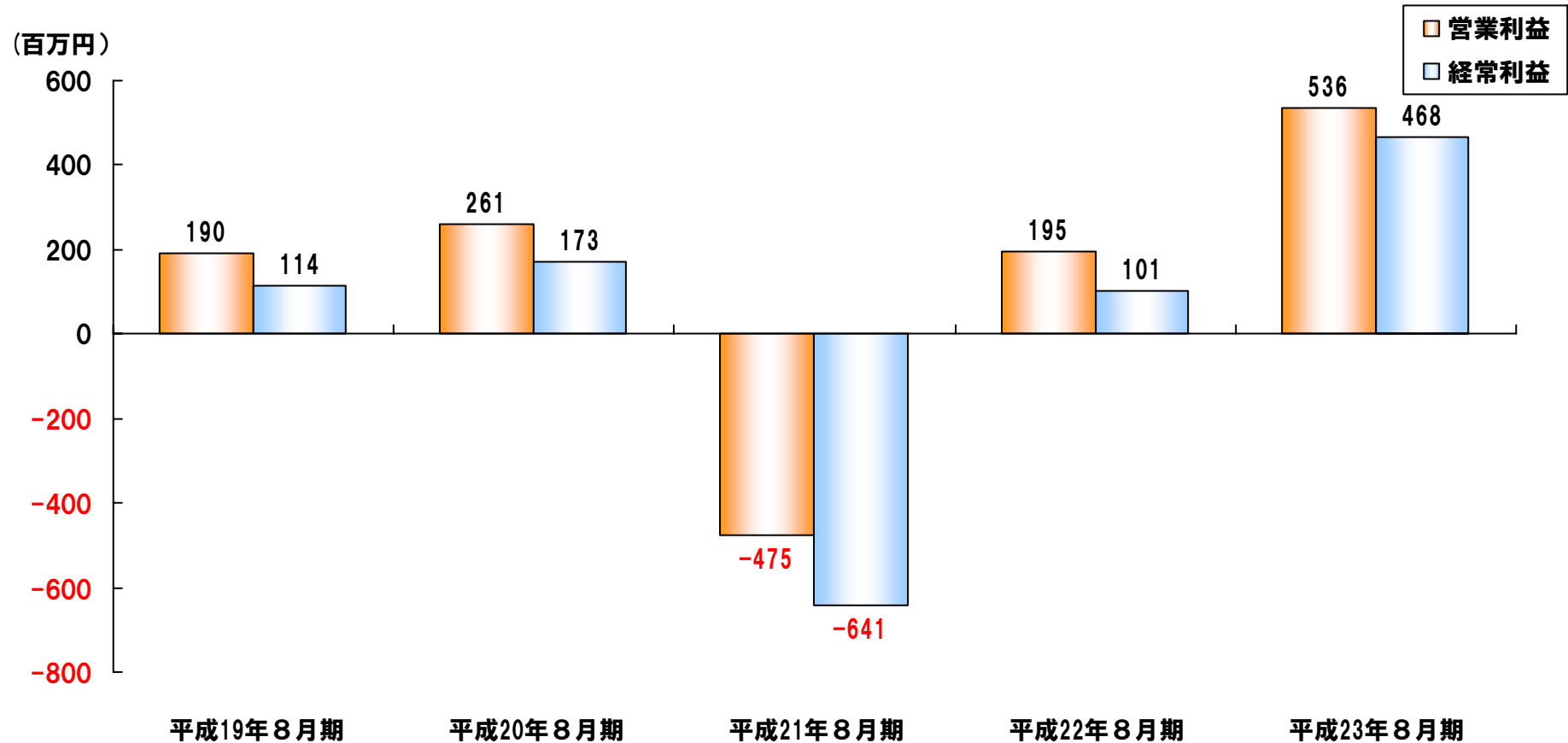
業績概要

売上高・売上総利益推移（連結）



業績概要

営業利益・経常利益推移（連結）



業績概要

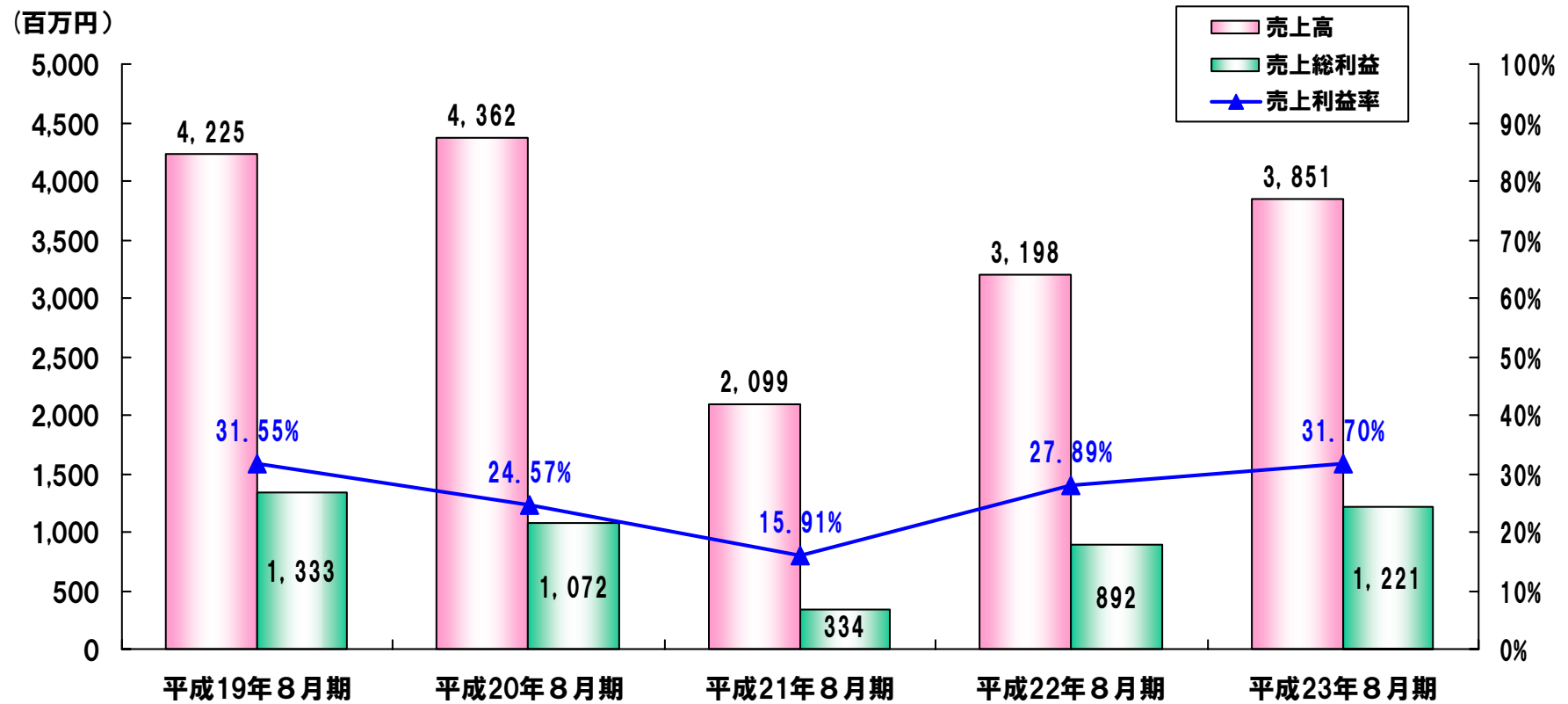
単体

(単位:百万円)

	平成22年 8月期	平成23年 8月期	前年同期比 増減額 (増減率)
売上高	3,198	3,851	652 (20.4%)
売上総利益	892	1,221	328 (36.8%)
営業利益	127	450	323 (254.6%)
経常利益	23	386	362 (1,557.2%)
当期純利益	96	320	223 (232.2%)

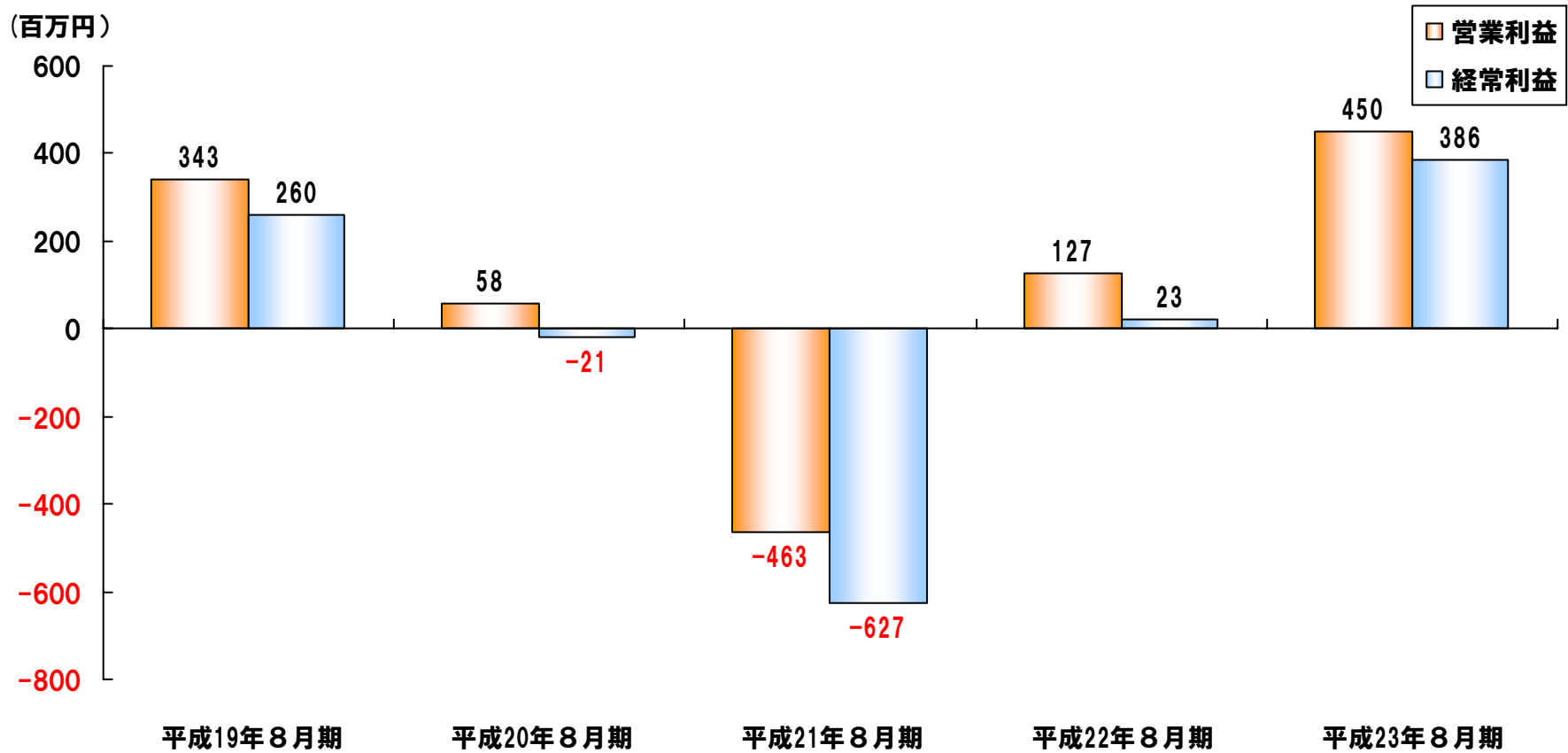
業績概要

売上高・売上総利益推移（単体）



業績概要

営業利益・経常利益推移（単体）



業績概要

報告セグメント

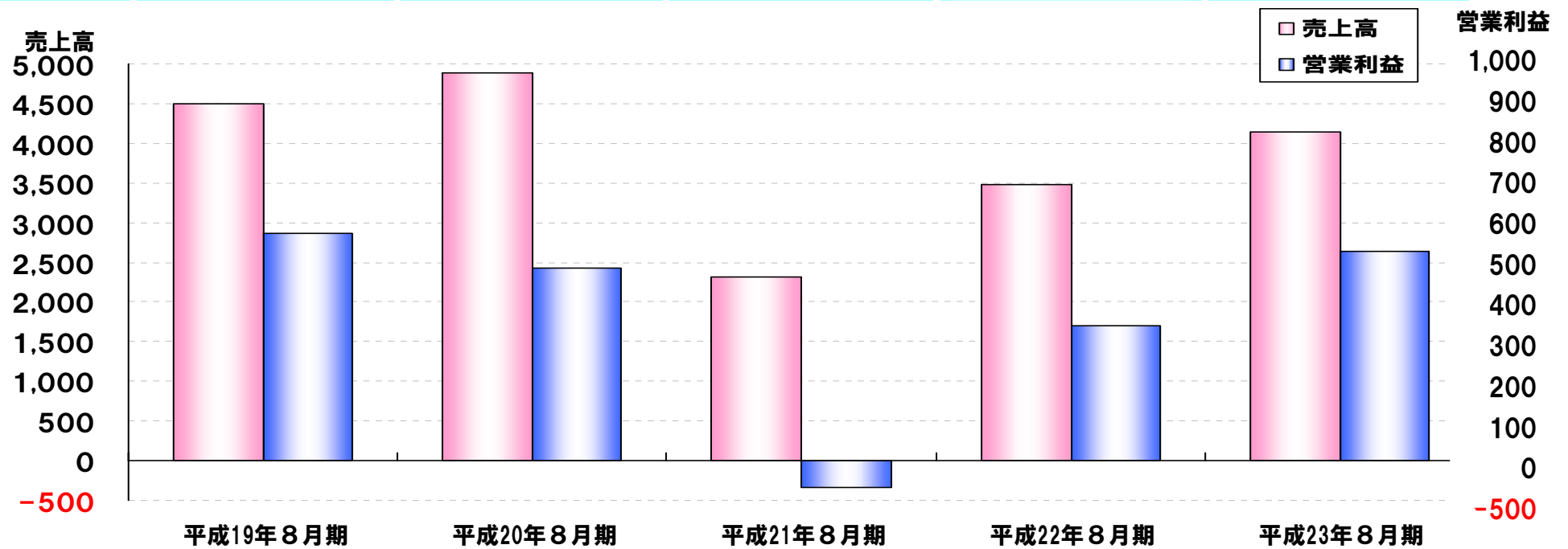
セグメントの名称	会社名
半導体・液晶関連事業	株式会社アドテックプラズマテクノロジー
	Adtec Technology, Inc. (米国)
	Adtec Europe Limited (英国)
	Phuc Son Technology Co.,Ltd. (ベトナム社会主義共和国)
研究機関・大学関連事業	株式会社 I D X (日本)

業績概要

半導体・液晶関連事業

(単位:百万円)

	平成19年8月期	平成20年8月期	平成21年8月期	平成22年8月期	平成23年8月期
売上高	4,495	4,888	2,309	3,473	4,144
営業利益	573	484	△339	340	529

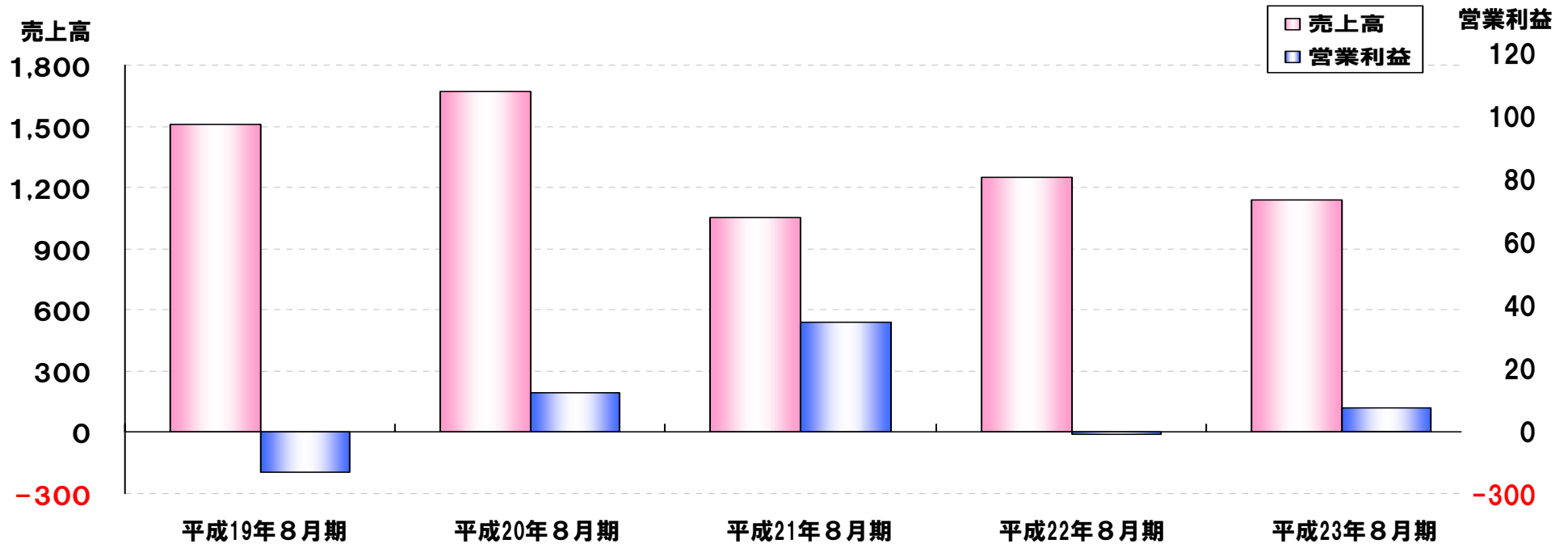


業績概要

研究機関・大学関連事業

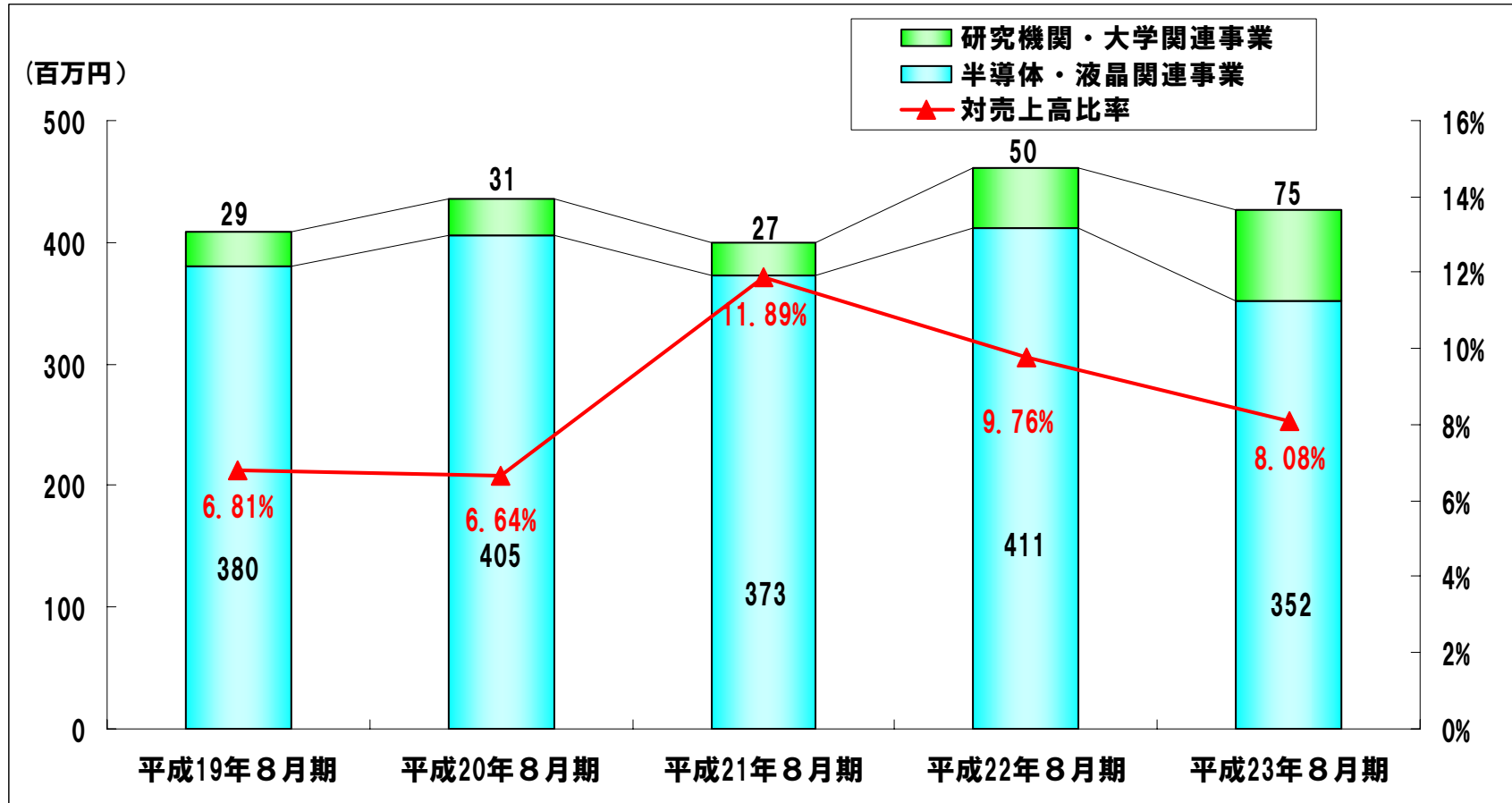
(単位:百万円)

	平成19年8月期	平成20年8月期	平成21年8月期	平成22年8月期	平成23年8月期
売上高	1,509	1,673	1,053	1,251	1,138
営業利益	△195	13	36	△7	8



業績概要

研究開発費推移



業績概要

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△455	△202	253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4	△65	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	71	112	41
現金及び現金同等物に係る換算差額	△77	△37	39
現金及び現金同等物の増減（△）額	△466	△192	274
現金及び現金同等物の期首残高	1,370	904	△466
現金及び現金同等物の期末残高	904	711	△192

平成24年8月期 業績予想

業績予測


連結

(単位:百万円)

	平成23年 8月期実績	平成24年 8月期予想	前年比 増減額 (増減率)	予想される主な要因
売上高	5,283	4,082	△1,201 (△22.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ○円高による業績の悪化 ○半導体製造装置の設備投資の一巡 ○薄型テレビの需要一服 ○太陽電池パネルの設備投資の一巡
営業利益	536	124	△412 (△76.7%)	
経常利益	468	42	△426 (△90.8%)	
当期純利益	364	△29	△393 (-%)	
1株当たり 配当金(年間) (円)	2,000	2,000	—	

今後の戦略

今後の経営戦略

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業
新製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ TXシリーズ ・ TSシリーズ ・ 新型マッチングボックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル電源 ・ 対称化電源
コストダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計見直しによる製造効率のUP ・ 海外生産（ベトナム、韓国） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部材を海外から輸入 ・ 製品のユニット化の推進
	 <p>コストダウン、納期の短縮、信頼性の向上</p>	
開発活動	大気圧プラズマの応用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療関係 ・ 表面処理 	バラスト水処理の応用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境関係 ・ マイクロ波電源

新製品高周波電源

TXシリーズ

重量は1/2以下
幅は1/2となりました！

従来品



重量 : 36kg
幅 : 430mm

新製品



重量 : 13kg
幅 : 215mm

TSシリーズ

重量・高さ共に
1/5以下となりました！

従来品



重量 : 470kg
高さ : 1,185mm

新製品



重量 : 80kg
高さ : 221mm

マッチングユニット

・標準化

- ①部材の共有化による納期短縮及びコストダウンを実現
- ②客先からの細かな設計要望に対応可能



・新型マッチングユニットによる性能の改善

- ①新型センサー
従来品より厳密な測定を実現
- ②新型アルゴリズム
従来品よりマッチング速度（時間）向上の実現

海外生産

商 号	(英文) Phuc Son Technology Co.,Ltd. (和文) フクソンテクノロジー株式会社		
所 在 地	ベトナム社会主義共和国バクニン省 バクニン市キンバク町キンバク05 通り32		
資 本 金	約8百万円		
設 立 年 月 日	平成23年(2011年)5月		
代 表 者	中山 浩之	決 算 期	6月末
出 資 比 率	当社100%	従 業 員 数	4名
事 業 内 容	プラズマ用高周波電源、マッチングユニット及びケーブルの製造及び販売		
生 産 品 目	プラズマ用高周波電源、マッチングユニット及びケーブル		
事 業 計 画	2012年度 約29百万円、2013年度 約36百万円、 2014年度 約43百万円の売上見込み		

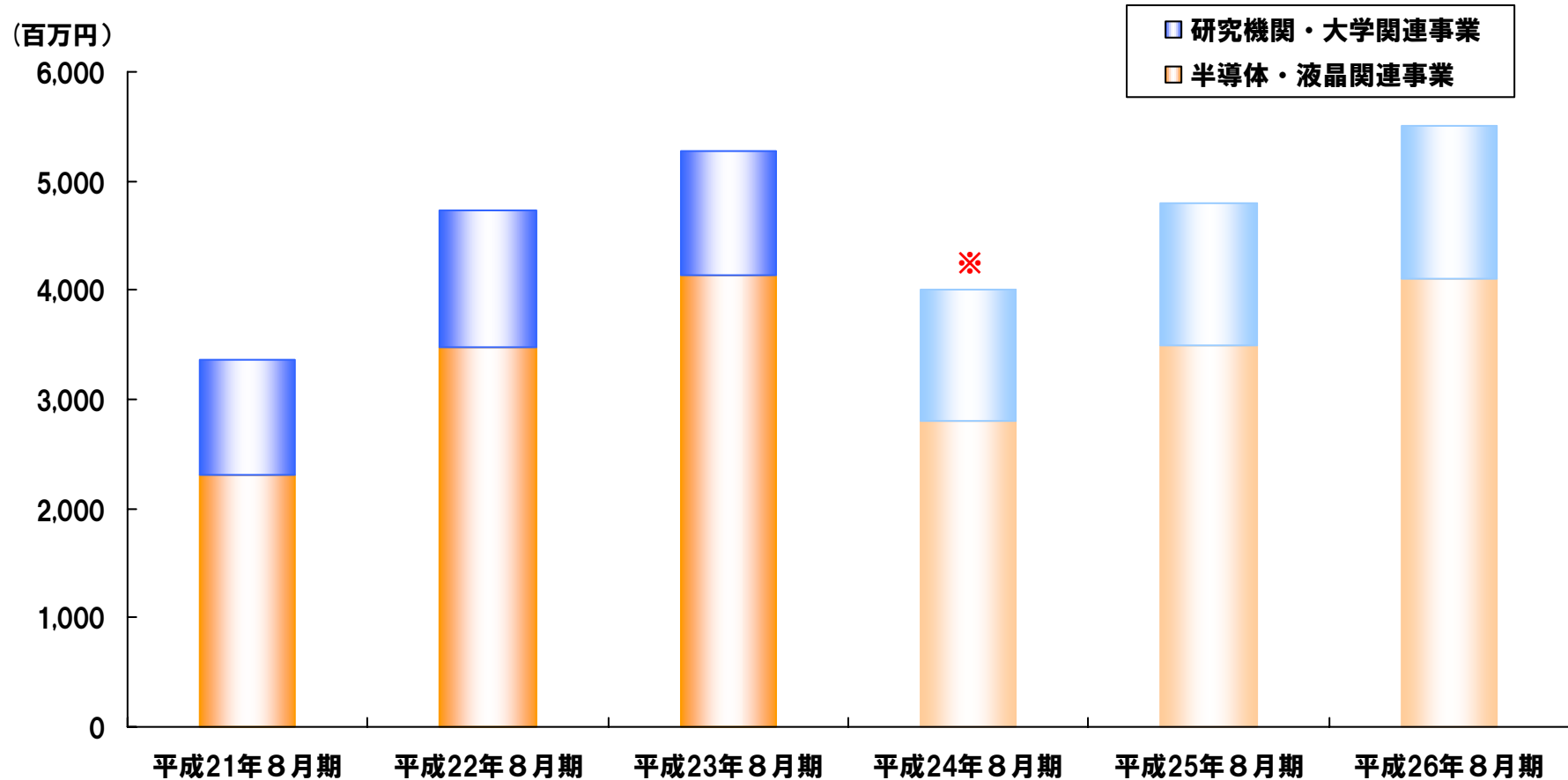


海外生産

商 号	(英文) Hana Technology Co.,Ltd. (和文) 株式会社ハナテクノロジー		
所 在 地	韓国京畿道富川市梧亭区三井洞36-1 富川テクノパーク サンヨン 3次102棟1203号		
資 本 金	約29百万円		
設 立 年 月 日	平成23年(2011年)5月		
代 表 者	中山 浩之	決 算 期	8月末
出 資 比 率	当社100%	従 業 員 数	4名
事 業 内 容	プラズマ用高周波電源、マッチングユニット及びケーブルの製造及び販売		
生 産 品 目	プラズマ用高周波電源、マッチングユニット及びケーブル		
事 業 計 画	2012年度 約57百万円、2013年度 約112百万円、 2014年度 約120百万円の売上見込		



今後の展望



※平成24年8月期予想の主な減少要因につきましては、P16「予想される主な要因」をご参照ください

ご静聴ありがとうございました

【当資料取扱い上の注意点】

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されているという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。